

SCOの連携支援を通じ、女性起業家が法人化と事業拡大を実現！

リラクゼーションあんどう（群馬県）

ボディケアセラピスト養成のスクール経営を目指す相談者。数年来自宅にて、ボディケアの個人事業を実施中。

1. 相談のきっかけ

相談者は、通常のボディケアのサービス以外に、本格的に施術の技術を学びたいというお客様からの要望を受け、小規模ではあるが、ボディケアセラピー教室を開催していた。

そうした中、こうしたセラピー教室を、養成スクールと位置付けて、新事業所を商圈の広い高崎市内に設けることで、本格的な事業展開に結び付けたいと相談者は計画。

法人「一般社団法人日本ボディケアセラピスト協会」の設立を行うべく、群馬県よろず支援拠点に来訪された。

2. 課題整理・分析

初回相談対応をした芦田SCOが課題として、以下の3点について整理した。

- 法人の設立に関しては、要項となる事業目的をきちんと整理し、法人名の商標権の取得時期に合わせて設立手続きを行うこと。
- スクール運営に当たり、会費や商標の取り扱いなど、運営上のトラブルを防ぐルールづくりを行うこと。
- 法人名や組織の名称に関しては、自社ビジネスの認知度向上のために、ボディケアのスクールカリキュラム修了生に対してのみ名称の使用を許可し使用できるように商標権を適切に活用すること。

3. 解決策の提案

課題として挙げた3点について専門分野ごとに各SCOが連携して支援を実施した。

- 法人の設立の手続きについてのアドバイス(中山SCOから)
⇒H28/3月下旬の法人設立に向け手続きの流れを案内した。
- 設立後の団体内部の規約について(中山SCOから)
⇒スクール受講生と団体との関わりについて、会費や商標使用のルール、禁止事項等、具体的な事項を挙げながら規約づくりについて助言した。
- 法人名、団体名称について、商標の調査、商標権の取得についてのアドバイス(服部SCOから)
⇒団体名称である「日本ボディケアセラピスト協会」の商標権の取得に向け先行情報等の調査を実施した。

4. 成果

●それぞれ専門分野を持つSCOの横の連携支援を通じ、事業者は自宅内で行っていた個人事業から法人成りができ、また、高崎市内に店舗をオープンすることができた。

●現在も継続して、スクール受講生の獲得や、施術を受ける顧客の集客と、販路拡大を専門とするサブコーディネーターに引き継ぎながら支援を継続しており、今後はさらなる売上拡大が期待される(大野SCO、朝岡SCOが支援)

<相談者(安藤様)の声>

『頭の中で、考えていた内容が、当拠点で相談に乗ってもらった中で、次第に形になって、次に何をしなくてはならないかといった次の課題が明確になりました。』

事業拡大ということで、途中、何度か後ろ向きな思いが出て、相談にくると、頑張ろうと前向きに切り替えることができたのはよかったです。

今後はスクールの集客や会社の運営について引き続き支援をお願いしたいと思います。』



↑安藤様の写真

←ボディケア施術の様子